

国立国会図書館における 所蔵資料の防災の取組—概要

国立国会図書館 収集書誌部 資料保存課

保存企画係長 吉井伶奈

国立国会図書館における 所蔵資料の防災の取組—概要

はじめに

1. 資料防災計画・対応マニュアル
2. イベント、協力活動など
3. 今後の課題

はじめに

- 資料の防災対策のステップ

①予防 → ②準備 → ③対応 → ④復旧

- 地震、火災、水害に対する「準備」を中心に
当館の取組を紹介

✓ 資料防災の計画

✓ 優先順位付け

✓ 対応マニュアル

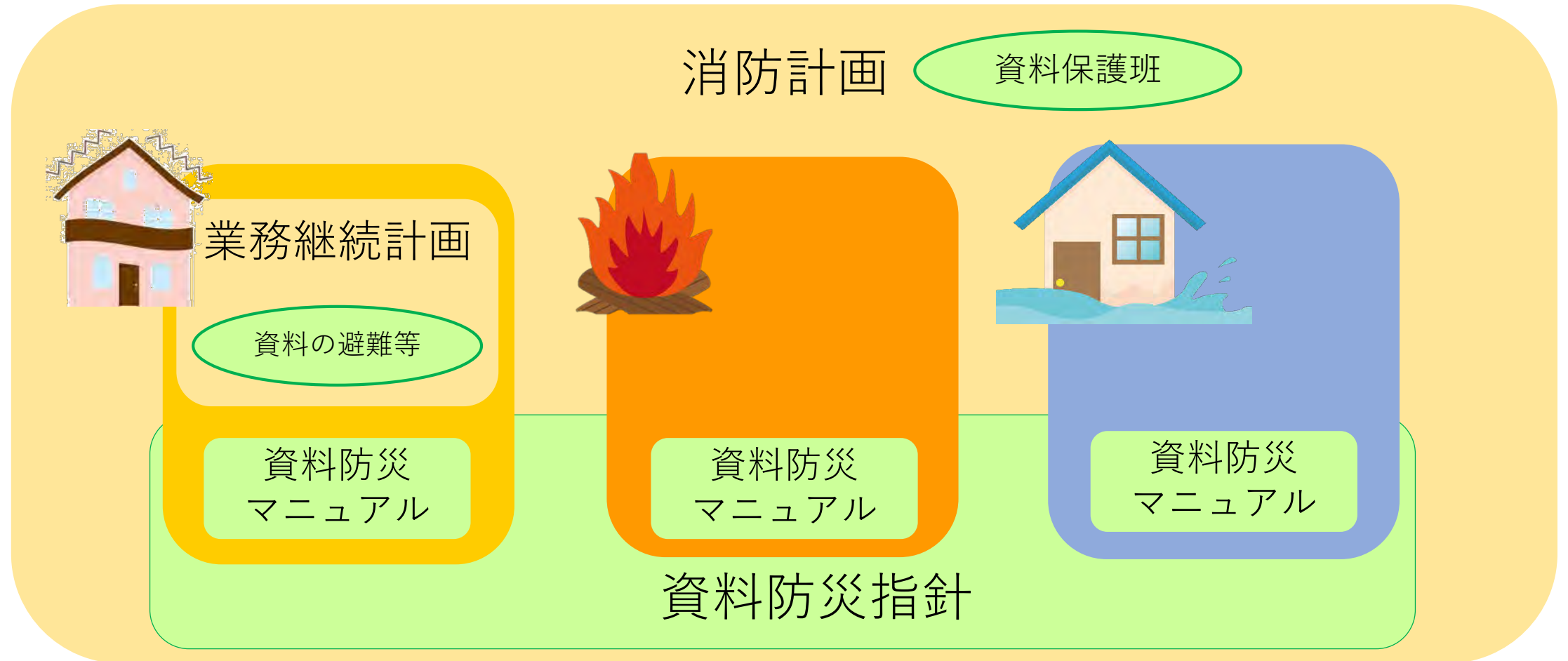
✓ 緊急時の体制

✓ 物資の準備

✓ 訓練・研修...

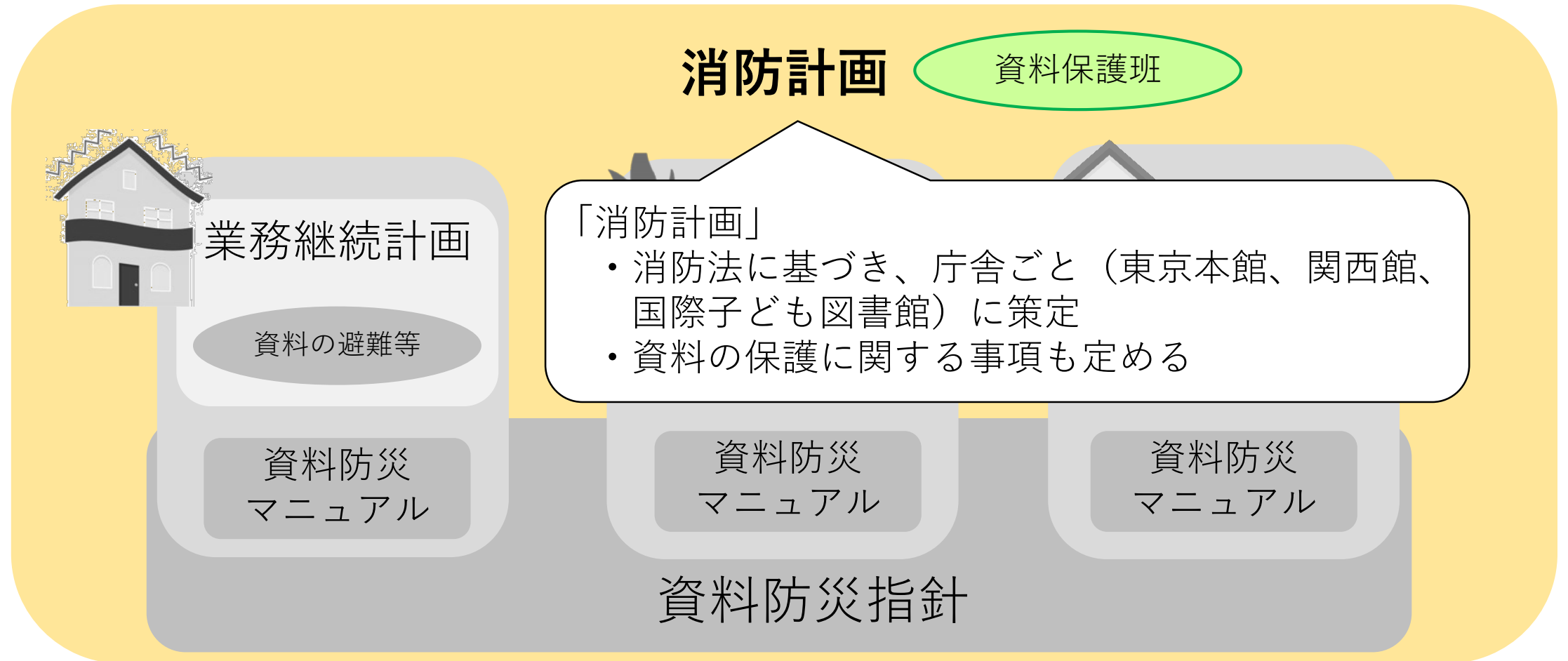
1 資料防災計画・対応マニュアル

(1) 概要



1 資料防災計画・対応マニュアル

(2) 防災全般の計画・方針



1 資料防災計画・対応マニュアル

(2) 防災全般の計画・方針



1 資料防災計画・対応マニュアル

(3) 災害発生時の体制

- 消防計画にのっとり、自衛消防組織の指揮系統下で「資料保護班」が資料の保護を担当する

- ①資料の被害情報の収集・記録
- ②資料救助のための応急措置



日常の取組

優先順位の検討
配置場所の把握

- 水濡れ資料対応マニュアル（後掲）
水災発生時の館内の連絡体制をまとめている

1 資料防災計画・対応マニュアル

(4) 資料防災に関する方針

「国立国会図書館資料防災指針」

https://www.ndl.go.jp/jp/preservation/collectioncare/pdf/siryo_bosai_shishin.pdf

・ 資料防災の基本の考え方を示す

- | | |
|-------------|-------------------|
| ①人命尊重 | ⑤専門性、迅速性の重視 |
| ②予防管理の重視 | ⑥3施設間の協力 |
| ③優先順位付け | ⑦国内外の関係機関・専門家との協力 |
| ④被災記録の維持と活用 | |

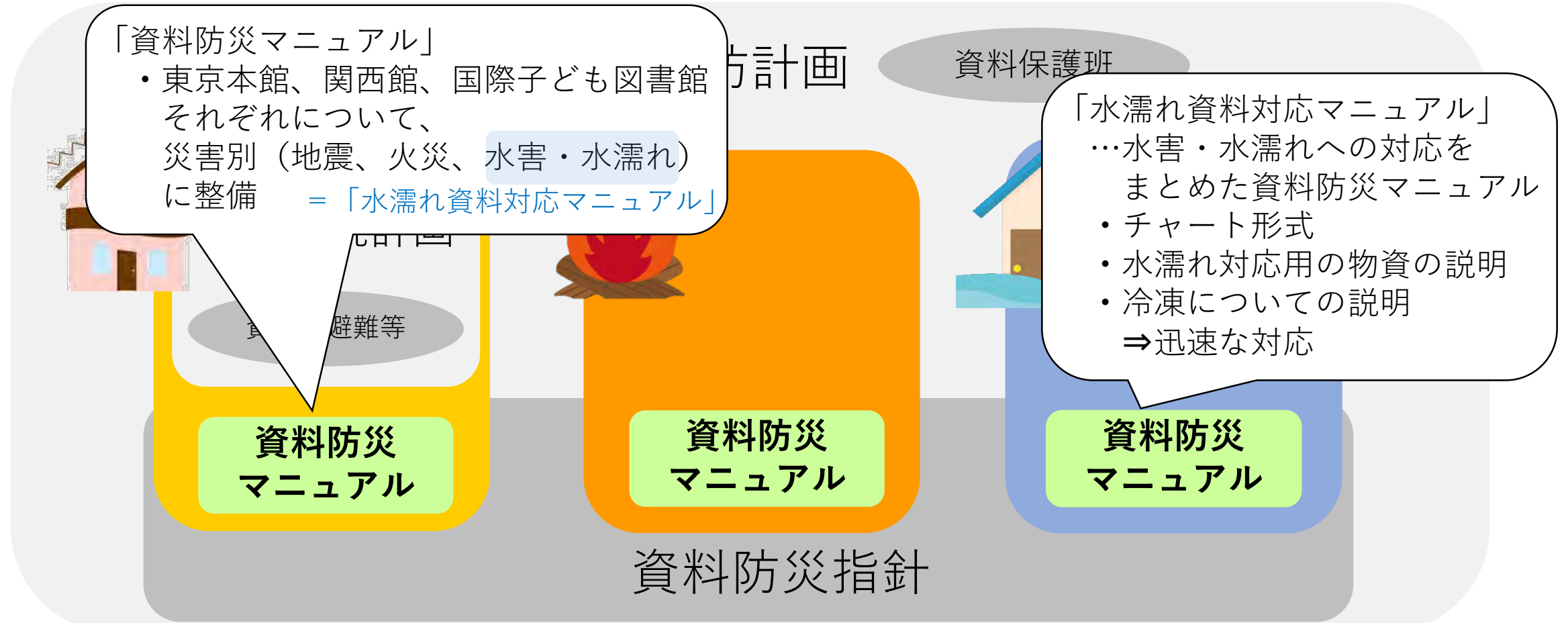
「資料防災上の優先順位について」

- ・ 資料防災指針に基づき、災害時に保護すべき資料群の優先順位を整理
- ・ 資料配置図の作成などの必要性

資料防災指針

1 資料防災計画・対応マニュアル

(5) 資料防災マニュアル



1 資料防災計画・対応マニュアル (6) 備品・物資

- 水濡れ対応グッズ、冷凍庫



1 資料防災計画・対応マニュアル

(6) 備品・物資

参考

- 国立国会図書館 書庫内水濡れ対応グッズ
<https://www.ndl.go.jp/jp/preservation/collectioncare/disaster_p/pdf/mizunure_taigoods.pdf>
- 水にぬれた資料を乾燥させる処置例1
<https://www.ndl.go.jp/jp/preservation/pdf/manual_drying1.pdf>
- 水にぬれた資料を乾燥させる処置例2
<https://www.ndl.go.jp/jp/preservation/pdf/manual_drying2.pdf>

1 資料防災計画・対応マニュアル

(7) 訓練・研修

- 水濡れ資料への初期対応の流れの確認、乾燥作業の訓練（資料保存課内）



- 資料防災研修
「図書館資料の防災対策－災害から資料を守る－」
（⇒事例報告）
- 水濡れ対応グッズの説明



2 イベント、協力活動など

(1) 保存フォーラム

- 資料保存に関する最新の課題について、専門家を招へいして講演を行い、意見交換
- これまでも資料防災についてとりあげてきた
(例)
 - 第30回(2019年度)：収蔵資料の防災－日頃の備え・災害対応・連携協力
 - 第29回(2018年度)：図書館建築と資料保存
 - 第23回(2012年度)：地震に対する図書館の備え
－良かったこと、分かったこと－
 - 第22回(2011年度)：中国、韓国、オーストラリア、日本における資料防災：
国立図書館からの報告

2 イベント、協力活動など

(2) レスキュー、支援

- 被災資料のレスキュー活動、修復作業、補修研修の講師派遣

<過去の取組例>

2011～2014年	文化庁の東北地方太平洋沖地震被災文化財等救援事業（文化財レスキュー事業）に参加 岩手県野田村立図書館の郷土資料や同県陸前高田市立図書館の吉田家文書の修復等を実施
2015～2016年	平成27年9月関東・東北豪雨により茨城県常総市立図書館の資料が水損。約30点の郷土資料等を修復
2016～2017年	平成28年熊本地震により熊本県立図書館の資料が大量に落下、破損。職員を派遣して修復実技指導等を実施。専門技術・道具での本格修復が必要な数点を修復
2019年	令和元年東日本台風により川崎市市民ミュージアムの資料が水損。職員を派遣して紙資料救済作業指導等を実施

- 外部関係機関との連携、情報共有

2 イベント、協力活動など (2) レスキュー、支援



被災資料のレスキュー活動への参加
(2019年・川崎市市民ミュージアム (神奈川県))



現地職員への補修研修の実施
(2016年・熊本県立図書館)

2 イベント、協力活動など

(3) 情報提供

- NDL HP 「資料防災」

< https://www.ndl.go.jp/jp/preservation/collectioncare/disaster_p.html >

段階ごとの（予防・準備・対応・復旧）資料防災対策、
よくある質問、参考情報

- NDL HP 「マニュアル・パンフレット・翻訳資料」

< <https://www.ndl.go.jp/jp/preservation/manual/index.html> >

3 今後の課題

- 資料の防災対策に特化した訓練の全館的・定期的な実施
- マニュアル類の維持管理、更新